

付 属 資 料

目次

特記仕様書（抜粋）	特1
現場説明付記事項・案内図・配置図	1
空調設備機器表（改修）・換気設備機器表（改修）	2

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書 （ 抜 粋 ）

京都大学（南部）先端医療機器開発・臨床研究センター空調設備改修工事（Ⅰ期）

1. 工 事 概 要

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1. 工 事 場 所 | 京都市左京区聖護院川原町54（京都大学病院東構内） |
| 2. 完 成 期 限 | 令和9年2月26日（金曜日） |
| 3. 建 物 概 要 | |

建物名称		先端医療機器開発・臨床研究センター	
工 種		模様替え	
構 造		S（一部R）5-1	
階 数		地上 5 階 地下 1 階	
建築基準法による	建築面積（㎡）	957	
	延べ面積（㎡）	4,635	
消防法施行令別表第一の区分		7項	
改修面積（㎡）		490	
備考			

	工事種別	
工事種目	先端医療機器開発・臨床研究センター	
●空調和設備	一式	
●換気設備	一式	
○排煙設備		
●自動制御設備	一式	
○衛生器具設備		
○給水設備		
○排水設備		
○給湯設備		
○消火設備		
○ガス設備		
○雨水利用設備		
●撤去工事	一式	

本工事は、先端医療機器開発・臨床研究センターのパッケージエアコンならびに空調換気扇の取替を行うものである。

Ⅱ. 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) 国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の工事請負

契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、●のついたものを適用する。

●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）

●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）（以下「標準図」という。）

●文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）（以下「文科仕様書」という。）

●文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）（平成31年版）（以下「文科標準図」という。）

●工事写真撮影要領（令和5年9月）

2. 施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。

(1) 本工事建物周囲には、病院・診療棟や研究施設等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮する

と共に、安全にも十分配慮すること。

(2) 建物や敷地周辺に影響すると思われる騒音・振動・粉塵・臭気等作業は、事前に監督職員と協議の上で進めること。

また施工中の防音対策を十分に講じること。

(3) 工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入などに周

辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。

(4) 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。

(5) 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。

(6) 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。

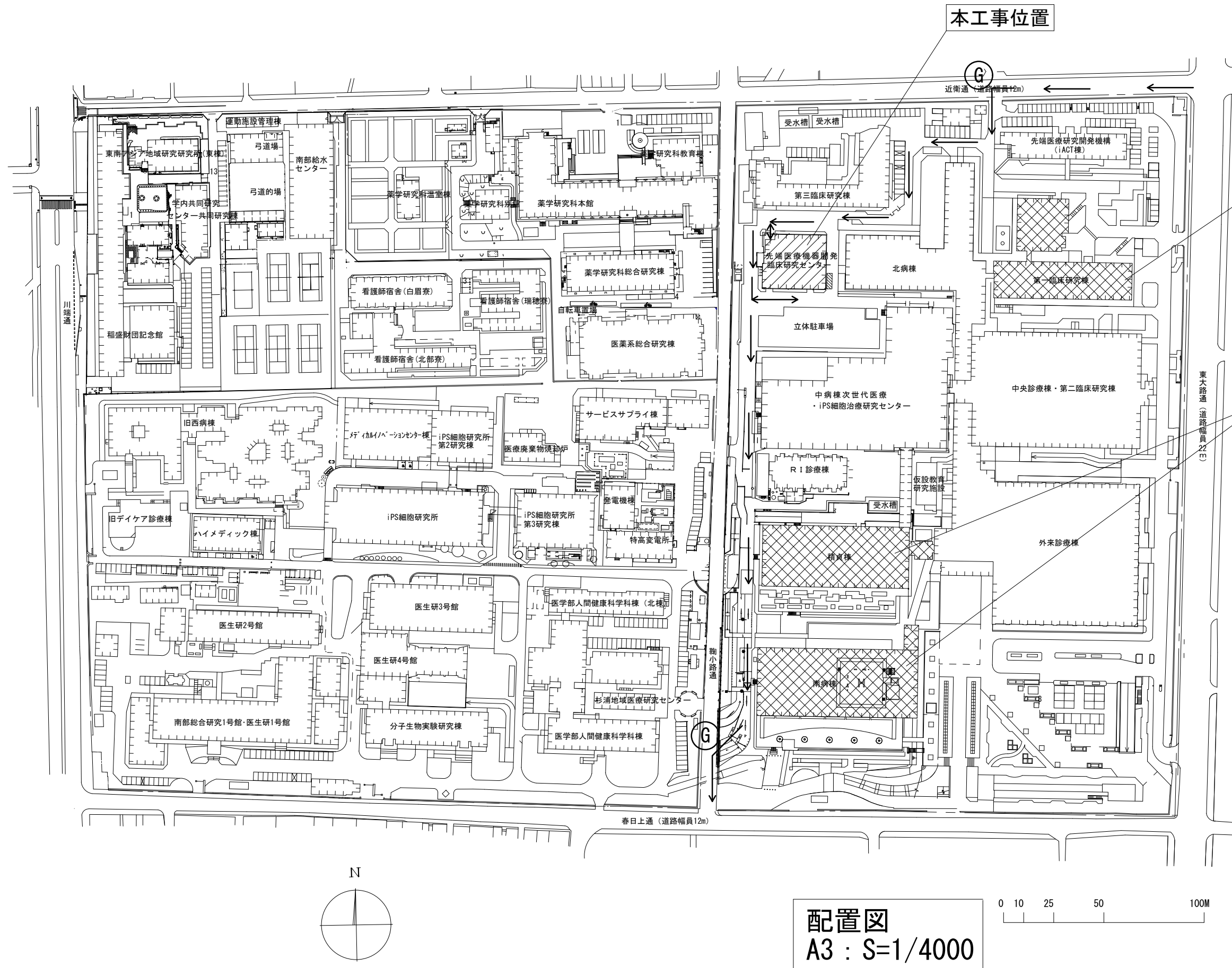
(7) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

(8) 作業時間は、午前8時30分から午後5時を原則とし、騒音・振動の生じる作業は土日祝日の実施とすること。

現場説明付記事項

- 1 工事施工上の注意事項
- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入りができないようにすること。
また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することとし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・病院行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、医療関係者、学生、患者等の通行が頻繁なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 埋蔵文化財を発見した時は、ただちに工事を中止し、監督職員の指示を受けること。
- 7) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 8) 地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 9) 工事用地は、工事完成時には現状に復帰して返還すること。
- 10) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 11) 作業時間は、午前8時30分から午後5時を原則とし、騒音・振動を伴う作業は土日祝日に行うものとする。
- 12) 病院構内及び、周辺道路、近隣住宅地付近は一切禁煙とする。

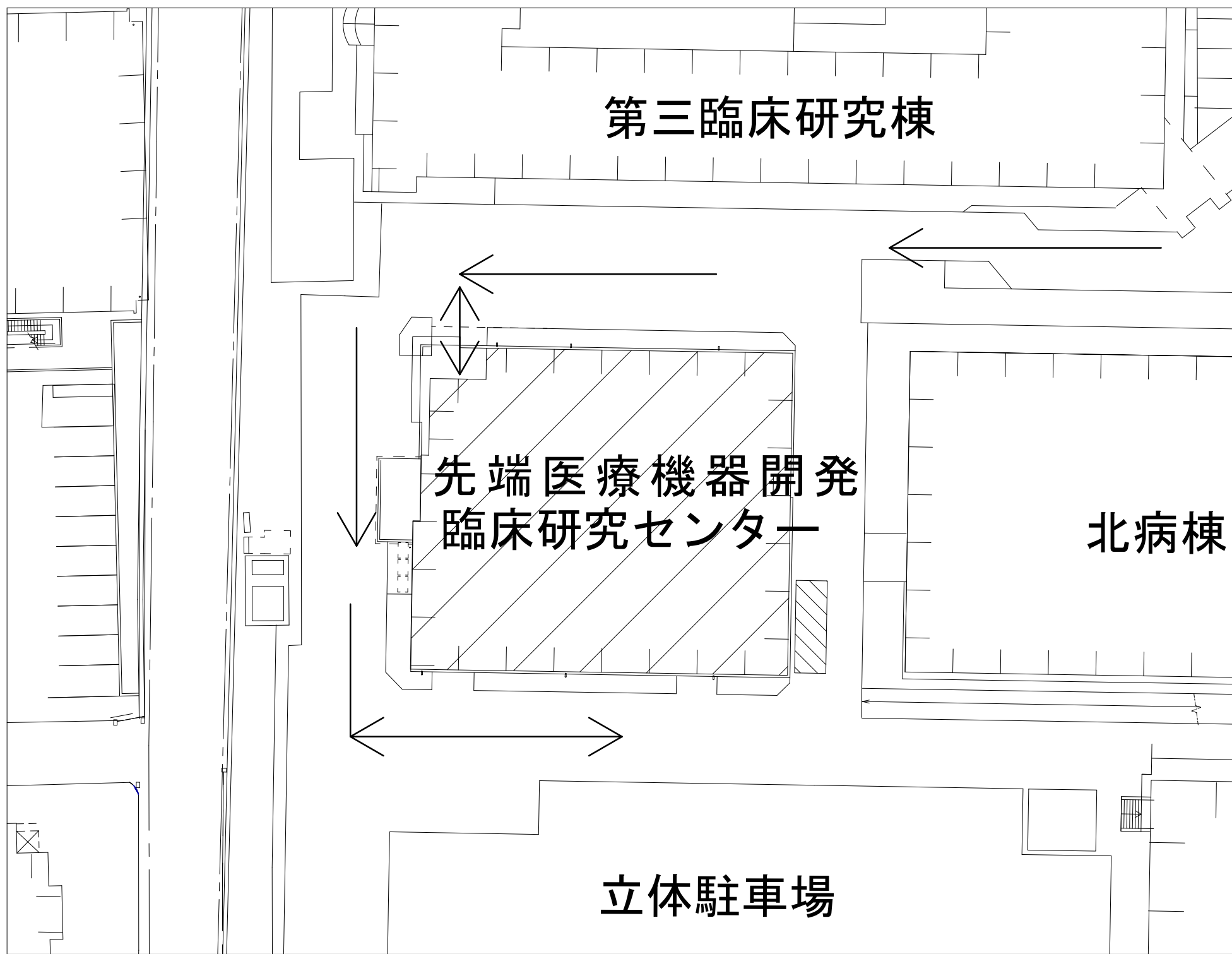
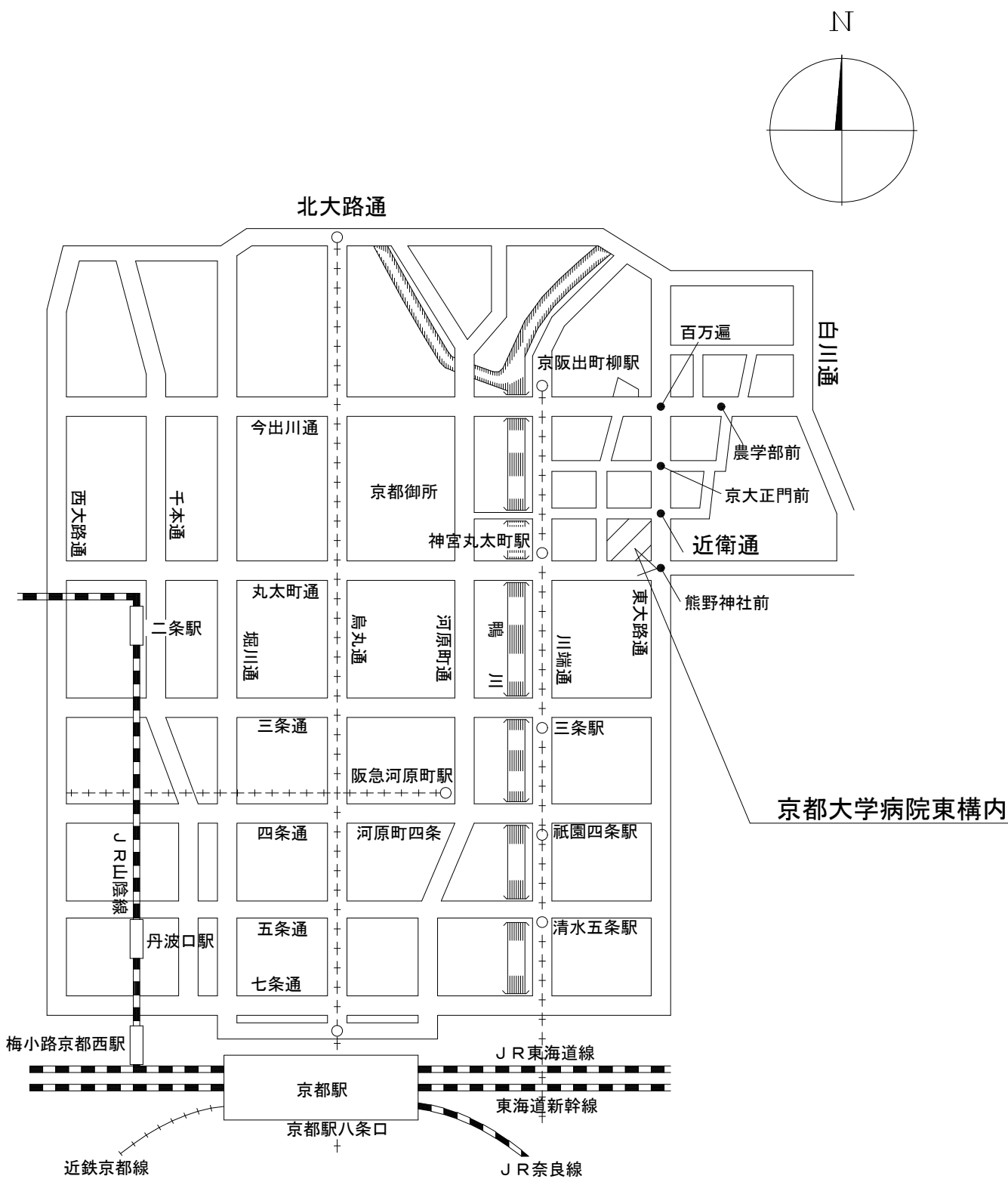
- 2 工事中の構内安全対策について
- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 掘削時等で危険な状態となる箇所には、安全柵、工事中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナー部に透明パネールを設置するなど安全確保に努めること。
- 7) パネルゲートには電子音つき回転灯を設置するなど事故防止に努めること。



第一臨床研究棟改修工事（Ⅲ期）
令和8年9月～令和9年3月（予定）

積貞棟等空調設備改修工事
令和8年9月～令和9年3月（予定）

案内図 NO SCALE



凡例

	本工事建物
	既存建物
	資材等搬出入経路
	交通誘導員（搬出入時のみ）
	別途工事中建物
	工事用地

工事名 京都大学（南部）先端医療機器開発・臨床研究センター空調設備改修工事（Ⅰ期）	縮尺 A3：図示	令和 8 年 9 月	図面番号
		京都大学 医学部附属病院	1

空調設備機器表（改修）																						
記号	機器名	機器仕様		室名	リモ コン	冷房能力 (KW)	暖房能力 (KW)	冷媒配管 (m)		吸込条件		冷媒配管サイズ (φ)				電源 φ-V 60HZ	電気容量（参考値） (KW)		台数	天井 種別	防振	参考（既設型番）
								高低差	配管長	室外	室内	ガス管		液管	COMP		FAN					
ACP-104	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	2階 庇			12.5	14.0	3.0	12.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	1		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-104-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	1階 105室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	DR	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
ACP-302	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	3階 庇			12.5	14.0	-1.0	10.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	1		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-302-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	3階 302室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	GB	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
ACP-304	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	2階 庇			12.5	14.0	-1.0	10.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	1		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-304-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	3階 304室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	GB	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
ACP-306	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	3階 庇			12.5	14.0	-1.0	10.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	1		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-306-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	3階 309室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	直天	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
ACP-402	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	4階 庇			12.5	14.0	-1.0	10.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	1		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-402-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	4階 403室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	直天	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
ACP-405	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	4階 庇			12.5	14.0	-1.0	10.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	2		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-405-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	4階 406室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	直天	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
			4階 407室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	直天	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	
ACP-506	空冷ヒートポンプエアコン（室外機）	冷暖切替（ツイン）	5階 庇			12.5	14.0	-1.0	10.0	A		15.88		9.52	3-200	4.2	0.9+0.9	1		防振ゴムパッド	SPW-CHVP140E【三洋電機販売㈱製】	
ACP-506-1	空冷ヒートポンプエアコン（室内機）	天井カセット4方向吹出	5階 507室	1	6.25	7.0					C	15.88		9.52			0.04	2	GB	防振ゴム	SPW-SP71EQ【三洋電機販売㈱製】	

- 共通事項
- 1) 能力値は、JIS条件時とし温度、冷媒長さ、高低差の補正を行なった定格能力を示す。

2) 全機種共、新冷媒適用機種とする。

3) 室内機は、ドレンアップ機能を付属とする。

4) 室内機のフィルターはロングライフ型とし、カセット形室内機は化粧パネル付とする。

5) 室内機、室外機間の通り配線（電源線、接地線、制御線等）は既設再利用とする。

6) 各機器はグリーン購入法適合品とする。

7) リブレイスモデル、高効率タイプとする。

8) 電気容量は参考とする。

9) リモコンスイッチはワイヤードとする。

10) 天井改修は、表中「天井種別」の記載の通りとする。
DR：岩綿吸音板 GB：化粧石膏ボード 直天：天井なし
- 11) 室内機には予備フィルター100%を見込むこと。

温 湿 度 条 件					
外気条件及び 室名又は系統名	夏 期	相 対 湿 度		冬 期	備 考
	乾球温度	相 対 湿 度		乾球温度	
外気条件	36.9℃	43.6%		0.4℃	65.9%
室名等	全室	成行		22.0℃	成行

換気設備機器表（改修）												
記号	名称	形式	風量 (m3/h)	機外静圧 (Pa)	電源 φ-V	電気容量 kW	機器接続 ダクト径	台数 合計	台数	付属品	設置場所	参考（既設型番）
HEA-5	全熱交換器	天井埋込ダクト型	580	100	1-100	0.465	200φ	1	1	リモコンスイッチ（24時間換気スイッチ付）	5階 507室	LGH-65RX5【三菱電機住環境ソリューション ㈱製】
										防振吊金具、その他標準付属品		
HEA-7	全熱交換器	天井埋込ダクト型	640	100	1-100	0.495	250φ	4	1	リモコンスイッチ（24時間換気スイッチ付）	1階 105室	LGH-80RX5【三菱電機住環境ソリューション ㈱製】
									2	防振吊金具、その他標準付属品	3階 302室・304室	
									1		4階 403室	
HEA-8	全熱交換器	天井埋込ダクト型	750	100	1-100	0.495	250φ	3	1	リモコンスイッチ（24時間換気スイッチ付）	3階 309室	LGH-80RX5【三菱電機住環境ソリューション ㈱製】
									2	防振吊金具、その他標準付属品	4階 406室・407室	

- 共通事項
- 1) 図示機器外形及び接続径等は参考値とし、各メーカー基準にて決定とする。
ただし、能力は記載値以上とする。

2) 全熱交換器用の配線（電源線、接地線、制御線等）は既設再利用とする。

3) エンタルピー交換効率（冷房・暖房時共）は、60%以上とする。
交換効率は、JIS B 8628に規定された定格時の効率とする。

4) 風量は強ノッチ以下にて選定とする。

5) フィルターはメーカー標準品（予備フィルター100%付属）とする。

6) 天井改修は空調設備機器表（改修）中、各室の「天井種別」に記載の通りとする。
DR：岩綿吸音板 GB：化粧石膏ボード 直天：天井なし